

Touching the World

高崎市国際交流協会会報 No.36
2008年6月



新会長紹介

5月25日付けで原浩一郎氏（高崎商工会議所会頭、原株式会社代表取締役会長）が、横田英一会長の後任として、高崎市国際交流協会の会長に就任しました。



高崎市国際交流協会会長
原 浩一郎 氏

平成20年度の総会におきまして、会員皆様のご推挙により、新しく会長に就任いたしました原浩一郎でございます。

前任の横田英一会長は、政治経済はもとより文化芸術・スポーツにも造詣が深く、あらゆる面で国際的視野を備えた方でした。このような前会長の跡を引き継ぎ、微力ではござ

いますが、会長を努めさせていただき所存でございますので、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

さて、世界に目を向けますと、地球規模にわたる環境破壊など、深刻な問題が注目されています。このような状況の中、国を越え、また様々な違いを越えて、国際的な視野を持ち、地球規模の問題解決のために行動することが、地球人として求められているのではないのでしょうか。

そのような中、高崎市は、姉妹友好都市間で環境等をテーマとした「地球市民環境会議」を毎年持ち回りで開催し、それぞれのテーマに基づいた共同研究や問題解決

のため、地球規模での交流を図っており、各姉妹友好都市の発展やまちづくりに貢献しております。遠く離れた姉妹友好都市が継続して環境等について考える「地球市民環境会議」は、他に類を見ない画期的な取り組みとして、他の姉妹友好都市交流を行っている市からも、注目を集めていると聞き及んでおります。この「地球市民環境会議」の運営の一翼を担っているのが、本国際交流協会であるということも聞いております。会員の皆様のこれまでのご努力に対しまして、改めて敬意を表する次第でございます。

国際交流の原点は、人と人との出会いであり、心と心の触れ合いであると私は考えております。高崎市は、国際交流の盛んな都市であり、姉妹友好都市との交流や国際理解事業、また在住の外国の方との交流事業など、市民が主体となった国際交流が基本となっており、当協会の果たす役割は大変大きいのではないかと考えております。

最後に、会員皆様のご指導とご支援をいただき、皆様とともに、国際交流の輪を広げていきたいと考えておりますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

Index

- 新会長紹介
- 他団体への協力
- 平成20年度総会・懇親会
- 部会紹介
- 部会活動ファイル
- 姉妹友好都市との交流
- Topics
- People People
- Information

他団体への協力



スリランカ人講師から話を聞く子どもたち
(新町第二小学校)

新町第二小学校の国際理解授業に協力し、2月6日、スリランカ・ブラジル・オーストラリアの出身者を講師として派遣しました。

また、社会教育課が、2月16日に、中央公民館で行った「国際理解講座」に、日本語ボランティアが日本語学習者とともに参加・協力しました。同講座は、在住外国人を対象としたもので、生活情報の提供や、すいとお人作りが行われました。

平成20年度 国際交流協会総会を開催



平成20年度の高崎市国際交流協会の総会を5月25日高崎ビューホテルにおいて開催しました。総会は、松浦幸雄市長も出席され、平成19年度事業報告及び決算、監査報告、前会長・横田英一氏より新会長・原浩一郎氏への引継ぎ、そして役員の後、平成20年度事業計画案及び予算案について審議が行われ、承認されました。

事業予算を審議

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 国際交流事業 | (6) 日本語教室運営事業 |
| (1) 第25回バトルクリーク市交換学生事業 | (7) 広報事業 |
| (2) 地球市民の日2008事業 | (8) 多文化共生推進事業 |
| (3) その他の国際交流事業 | (9) ボランティア活用事業 |
| 2. 国際化推進事業 | (10) 在住外国人生活支援事業 |
| (1) 国際理解事業 | (11) 国際交流活動周知支援事業 |
| 語学講座 | (12) その他 |
| 海外料理教室 | |
| (2) 第18回国際交流の集い事業 | |
| (3) 在住外国人との交流事業 | |
| (4) 小中学生国際理解事業 | |
| (5) 国際友好促進事業 | |

平成20年度予算額

26,804,000円

懇親会

グループ・レヴェラシオン ミニコンサート

総会后、グループ・レヴェラシオンのミニコンサートが開催されました。グループ・レヴェラシオンは、1992年に高崎folklore同好会として発足し、南米の民族音楽の魅力をより多くの人に知ってもらおうと各種イベントで活躍しているグループです。コンサートは、悪魔の踊りとともに「ディアブラダ」という曲から始まり、「コンドルは飛んでいく」や「花祭り」など馴染みのある曲も演奏されました。出席者は、ケーナ、サンポーニヤ、チャラ

ンゴ、ボンゴという珍しい楽器の音色と、見ごたえのある踊りや豪華な衣装も楽しんでいました。



平成19年度の主な事業

- ・ 5月26日 委員会・総会
- ・ 7月27日～8月18日
第24回バトルクリーク市交換学生事業
- ・ 9月2日 第17回国際交流の集い
- ・ 10月28日 地球市民の日

語学講座

英語(初級・中級) ハングル入門
旅行向けハングル入門 中国語入門
はじめてのスペイン語
はじめてのフランス語
ロシアの言葉と文化
海外料理教室
中国、ルーマニア、メキシコ、
オーストラリア、ドミニカ、ペルー、
イタリア、スコットランド、オランダ、
 Bangladesh、ベルシャ
在住外国人との交流事業
国際理解講演会
坂本達氏 講演会
親子海外料理教室
アメリカ
キッズクラブ
夏期、冬期教室
小学校の国際理解授業への協力
協力先 新町第二小学校
国際友好促進事業
ハロハロ・フィリピン、
書道・茶道文化体験教室
世界のイケ麺さがし
日本語教室運営事業
日本語教室開催(春、夏、秋、冬期)
日本語ボランティア・ステップアップ研修
交流会、春節餃子交流会
広報事業
英語、ポルトガル語、中国語のニュース
レターの発行、タッチングザワールド、
メンバーズサロンの発行
ボランティア活用事業
日本語ボランティアコーディネーター研修、
在住外国籍児童の母語支援のための書籍
購入
その他
在住外国人生活支援事業
国際交流コーナーの図書・パソコンコー
ナーなどの充実
外国人交流会(哲学堂)
日本語スピーチコンテスト国際交流協会
長賞を授与

平成19年度決算額

20,778,390円

市民主体の国際交流を推進するため、協会には5つの部会があり、ボランティアスタッフを中心に、年間を通じて、さまざまな事業を行っています。

都市友好部会

部会長 鈴木 宏輝

私たち都市友好部会は、レクリエーションを交えた文化紹介事業を主に、外国の方々と市民の皆さんとの交流を行っています。どの国をとりあげても、言語に始まりその生活や慣習などは実に様々です。それは食べ物においてはより顕著で、味という感覚が一層身近な感動を与えてくれます。

事業の内容は、その都度スタッフで考えています。自分たちも楽しむ事を基本に企画していますが、大盛況ともなるとその楽しさも倍増です。

当部会は少数精鋭を謳っています(笑)が、より多くの方が参加して、たくさんのアイデアを提案していただければいいと考えています。ぜひご参加下さい！



大人気の八口八口

事業部会

部会長 荻原 馨

事業部会の役割は、在住外国人と市民が交流を深め、お互いの文化や習慣を理解しながら共生できるような環境をつくる場としての交流事業等の開催です。その他、事務局主催の事業の手伝いなどもしています。恒例となったインターナショナルバーベキュー、ニューイヤーパーティー、バスツアーでは、多くの外国人との交流が図られています。

現在、部会スタッフは12名で、毎月第2水曜日に部会を開いています。今年度は、7月にホットサマーナイト、9月にオージーBBQ、11月にバスツアー、2月に春節ニューイヤーパーティー、ワカサギ釣り大会を企画しています。



霧ヶ峰へのバスツアー

青少年育成部会

部会長 中島 雅利

今年は、日本ブラジル交流年であることから、ブラジルを理解する活動を主に実施します。主な内容は、スタディーキャンプでの学習会やブラジル人学校の訪問、ブラジリアンパーティーなどです。世界最大の日系社会を有するブラジルは、今後、経済や芸術文化、観光などを通して、一層我が国と関係を深めていくことが予想され、意義ある活動となることを願っています。また、ジュニアインターナショナルクラブ(JIC)には、活動の目的を理解し、自主的に行動できるメンバーに加入して欲しいという願いから、応募の理由を明記してもらうことにしました。これは積極的に国際理解、国際平和に貢献できる青少年を育成できると考えるからです。



スタディーキャンプで外国人ゲストと学習するJICメンバー

広報宣伝部会

部会長 加島 淑子

会員のみなさんへ協会事業等のお知らせを行う「メンバーズサロン」(年6回発行)と「Touching the World」(年2回発行)を作成しています。また、在住の外国の方には、英語、中国語、ポルトガル語のニュースレターを毎月発行し、生活情報を提供しています。

最近では発行部数の増加に伴い、現在の部会スタッフだけでは、作業が大変になってきました。木曜日の朝の2時間...発送準備の時だけでも構いません...一緒に活動して下さる方を募集しています。興味のある方は事務局に連絡してください。

これからもみなさんに愛される広報紙をお届けできるよう努力していきますので、よろしくお願いします。



楽しく編集集中

部会紹介

本年度から日本語ボランティアグループがコミュニケーション支援部会となり、事業の充実を図ることになりました。

コミュニケーション支援部会

部会長 鈴木 武夫

現在は、中央公民館（3教室）、群馬福祉会館（3教室）、新町公民館（2教室）で計8つの日本語教室を開催し、地域に暮らす日本語を母語としない人たちが、高崎で快適に暮らせるように、日本語学習のお手伝いを中心に、生活情報の提供等を、約60人の日本語ボランティアで行っています。

また、小さい子どもがいる学習者も参加できるようにと、一部の教室では、子育て支援団体の協力を得て、託児も行っています。平成19年度の冬の日本語教室には、21か国147人の学習者が参加してくれました。私たちの活動が「言葉の壁」を低くし、誰もが必要な情報にアクセスできるようになり、そこかしこに小さな交流が生まれるようにと願っています。



少人数グループできめ細かい支援が受けられる日本語教室

部会活動ファイル

都市友好部会

本物の味に舌鼓 世界のイケ麺さがし

都市友好部会は、3月9日、並榎中学校調理室で、世界各国の麺料理を紹介する「世界のイケ麺さがし」を開催しました。

紹介したのは、タイ（タイ風ヤキソバ）、バングラデシュ（バングラデシュ風ヤキソバ）、フィリピン（あんかけビーフン）、ベトナム（フォー）、ブラジル（ニョッキ）、日本（おきりこみ）の6つ。60名を超える参加者は、グループに分かれて、各国の出身者の指導のもと調理し、出来上がった料理を分けあって試食しました。



ただ今、イケ麺調理中

事業部会

ダンス・ダンス・ダンス ニューイヤーパーティー

事業部会は、1月27日、高崎ホワイトインで、ブラジル移民100周年と日本の正月を融合した少しユニークなニューイヤーパーティーを開催し、約200人の参加者が、音楽やダンスを楽しみ、交流を深めました。

琴演奏で始まったパーティーは、大勢の美女たちによる情熱的なラテンダンスで最高潮を迎えました。また、会場内に作った日本の正月の遊びのコーナーは、和やかな雰囲気をかもし出していました。最後は参加者全員が輪になって、「Auld Lang Syne（ほたるのひかり）」を歌いました。



輪になってみんなでダンス

青少年育成部会

国際理解講演会

「やった!自転車世界一周の夢実現。
ほった!命の恩返しの井戸完成!」



アフリカの民族衣装を着てサインに応じる坂本さん

青少年育成部会は、12月16日、高崎経済大学で、坂本達さん（ミキハウス社員）の講演会を開催しました。坂本さんは、有給休暇を利用して、1995年から4年3か月かけて自転車で世界を一周。以来、仕事をしながら、アフリカの村に井戸や診療所を建設したり、日本で講演会をしたりして、活躍されている人です。

坂本さんは、自分の体験をもとに「ごくあたり前のあいさつやお礼という行為が幸運をもたらしてくれる」と主張。参加者からは「ごく当たり前のことができている自分を反省する」、「国際交流において言葉が通じなくても、あいさつやありがとうの気持ちは、努力すれば伝わるのではないか?」、「感謝の気持ちが大切だと感じた」などの感想が寄せられました。

ジュニアインターナショナルクラブ（JIC） JICA地球広場訪問

JICは、3月29日、東京広尾にある「JICA地球広場」を訪問しました。地球広場では、探検シートを記入しながら、アフリカに関する展示物を見学し、世界で起きている様々な問題について勉強しました。また、ブルガリアで活動していた元青年海外協力隊員の体験談を聞きました。いきなりブルガリア語で話しかけられ戸惑ったJICメンバーでしたが、身振り手振りを駆使し、懸命にコミュニケーションをとろうとする中で、わかるようになる気持ちさえあれば、通じることを体験しました。

親子海外料理教室

ダイナミックなハンバーガー完成

2月24日、並榎中学校調理室で開催した親子海外料理教室の参加者に感想を寄せていただきました。

『親子料理教室に参加して』

堀口 恵子 さん
たける さん（小学5年生）

アメリカのピッツバーグ出身のクリス・オーエンズ先生が来て、ハンバーガーや、挽肉と赤豆のスパイシー料理などを作りました。食事の後は、ペンシルバニア州について話を聞いたり、先生の家族や出身の街の写真を見たりしました。私と息子は、初めての参加でしたが、とてもユーモアのある先生だったので、リラックスして楽しむことができました。じゃがいもを適当に洗って、丸ごと茹でてできあがり。玉ねぎの皮を適当にむいて切る。スパイスも家にあるものを適当に入れるなど、アメリカ的でダイナミックなやり方は、とてもおもしろかったです。息子もアメリカ人の先生と楽しく料理をしたり、食事をしたりすることができて、「参加して良かった!」と言っていました。楽しい時間をありがとうございました。



「スパイスは何がはいるのかな?」



マラリアの予防に使われている蚊帳を体験

サントアンドレ地球市民環境会議

高崎市と姉妹友好都市5市が1年1都市持ち回りで開催している「地球市民環境会議」が、今年は日本人ブラジル移民100周年を迎えるブラジル連邦共和国サントアンドレ市で「ミレニアム開発目標 環境の持続可能性の確保」をテーマに、4月23日から26日まで開催されました（モンテルパ市は都合により不参加）。

高崎市からは、市民団体・企業・行政の各分野の代表が参加しました。市民団体からは高崎市国際交流協会事業部会長の荻原馨さんが参加し、「高崎市国際交流協会の環境活動」と題し、協会主催イベントにおける再利用可能な食器使用によるごみ減量の実現や、JIC活動における体験型スタディーキャンプでの自然環境保護学習について報告しました。また、参加各市から環境保全活動について報告があり、意見交換が行われたほか、サントアンドレ市の環境保全に取り組む施設や、教育現場などを視察しました。

サントアンドレ市では、移民100周年を祝う日系人の方々の熱烈的な歓迎を受け、参加各市の訪問団も加わり、互いの友好を深めました。またサントアンドレ市にある高崎公園では、福田康夫首相の移民100周年を祝う記念碑の除幕式が行われました。同公園には父である故福田赳夫元首相の移民70周年を祝う記念碑も建立されており、親子2代の首相による記念碑が並んで建つこととなりました。同公園は現地日系人の憩いの場となっており、高崎市とサントアンドレ市の友好のシンボルにもなっています。

「地球市民環境会議」は来年チェコ共和国プルゼニ市での開催が予定されています。



サントアンドレ市高崎公園に並んで建つ移民記念碑



参加各市の環境報告と意見交換

プルゼニ市観光博覧会



博覧会会場

10月4日から6日まで、姉妹都市・チェコのプルゼニ市でプルゼニ地区観光博覧会が開催され、高崎市も参加しました。

高崎市をより身近に感じてもらい、高崎プルゼニ両市の観光交流へとつながっていくようにと、昨年に引き続き2回目の参加となる今年も、持参した達磨の説明と配付を中心にPRを行ってきました。

プルゼニ市民の日本に対する関心は非常に高く、期間中、ブースには人が途絶えることがありませんでした。

また、達磨以外についても、ポスターを掲示した高崎まつりなどについて多くの質問を受けました。

（報告：市観光課観光振興担当齋藤崇夫さん）

書道・茶道文化体験教室



書道を楽しく体験

12月15日、高崎哲学堂で、外国人を対象とした書道・茶道文化体験教室を開催しました。書道は、片桐順子先生のお手本を見ながら作品を仕上げ、作品に押す刻印も作りました。茶道は、大日本茶道学会の鈴木洋二先生によるお点前でお茶をいただき、茶道の歴史や哲学の話を聞きました。初めて書道や茶道を体験したという人も多く、一流の先生の指導のもとで、約30人の外国人参加者は、とても貴重なひと時を過ごしました。

なお、書道作品は、国際書道連盟展に出展し、2008年2月16日から23日まで、東京都美術館に展示されました。

第18回国際交流の集い

みんなだれでも参加でき、楽しく交流できる場 ～花と緑の国際交流～

6月7日、JT跡地の「にぎわい広場」で、「第18回国際交流の集い」を開催しました。毎年秋に開かれていましたが、今年は「全国都市緑化ぐんまフェア」にあわせ、この時期となりました。梅雨入り直後とあって心配されていた空模様でしたが、汗ばむような良い天気となり、



インドネシア舞踊に挑戦する来場者

第18回国際交流の集いに、たくさんの皆さまにおいでいただきまして、ありがとうございました。

また、ボランティアの皆さまの多大なるご協力に感謝申し上げます。

実行委員長 加島淑子

さまざまな言語が飛び交った外国人交流会

3月30日、哲学堂で、外国人交流会を開催し、フィリピン、インド、ネパール、スリランカ、中国、ベトナムなど8か国、31人の外国人が集いました。この交流会は、日本語教室の参加者の要望に応じて行ったもので、日本語の一番良い学習方法やフィリピン食料を販売しているお店のことなど、生活に役立つ情報の交換の場となりました。

また、来日したばかりのフィリピン人が、来日してから初めて他のフィリピン人に会ったと、思わず抱きつく場面もみられました。在住する外国人にとって、自分の文化や習慣を理解してくれる同じ国の仲間とのつながりが、いかに大切かを教えてくれる1コマでした。



新しい友だちができました

およそ5千人の来場者がありました。

ステージでは世界各国の踊りや歌が披露されました。中には参加型のものもあり、出演者と一緒になって楽しむ姿がみられました。世界各国の料理や飲み物を一品百円で味わうことができるテントの前には、本場の料理を求める人で長い列ができていました。また、ちぎり絵、生け花や茶道を体験するコーナーも設けられ、外国の方たちに大人気でした。

今回の国際交流の集いを開催するにあたり、1月に実行委員会が組織され、準備が進められました。当日は6百人ちかいボランティアが加わり、準備から後片付けまで大活躍でした。

日本赤十字社を通じて 中国・四川大地震被災地支援

5月12日に四川省で発生した地震の被災地支援の募金箱を国際交流の集いの会場内に設置しました。

この日集まった善意30,148円に、都市友好部会が積み立てている義援金を加えて5万円にし、日本赤十字社を通して被災地へ送りました。

青年海外協力隊員として ウガンダで活動中

高崎市職員 高橋 一勝 さん

青年海外協力隊員として、2年間ウガンダのブタレジャ県庁で活動することになり半年が経過しました。

主な活動内容は、ウガンダの地方行政の改善のためのアドバイス及び技術支援なのですが、なかなか上手くいきません。日本の行政制度とウガンダのそれは、全体的にはそれほど大きな違いはないのですが、違っている所もちろんあり、中には日本と全く違うところもあります。

そんな中で、ちょっと面白いエピソードを紹介します。ウガンダでは、奥さんが二人いるのはけっこう普通です。そのため、県庁の会議でファ

ーストワイフとセカンドワイフが別に暮らしている場合、どちらの家で住民登録するべきかという嘘みたいな話が普通に行われています。国が違えばいろいろ変わるのだなと実感しました。

今までは語学の壁等あり、実際の活動はそれほど本格的に取組めなかったのですが、残りの1年半は自分にできる範囲で、ウガンダの地方行政の改善に取り組みたいと考えています。

その他の活動として、現地の住民との触れ合いにも力を入れています。先日、旧同僚から不要な鉛筆を送ってもらったので、それを幼稚園に配りました。ウガンダ、というかアフリカ諸国はとにかく貧しいです。子供に鉛筆すら買ってあげられない親が多いです。そのため子供たちはす



送られた文房具を手にする園児たちごく喜んでくれて、自分もすごくうれしくなりました。物による援助は賛否両論あり難しいところですが、実際の行政職員としての活動以外にも自分にできることをやっていき、ウガンダの人々ともっと親身になっていきたいと考えています。

アフリカの中でも笑顔の子供が多いウガンダで、今後も活動を頑張っていきたいと思います。

Information

サルサダンスで交流 HOT SUMMER NIGHT

日時：7月20日（日）午後6時～9時 場所：高崎市労使会館（東町80-1 高崎駅東口から徒歩10分）参加費：一般千円、小学生五百円、未就学児無料 定員：120名（先着）料理：イタリアンビュッフェ、飲物は別途会場内で販売 申込：電話で事務局へ

食器一式（マグカップ、取り皿、箸など）の持参にご協力ください。持参いただいた方に1杯目の飲物を無料で提供します。

バトルクリーク市交換学生 歓迎レセプション

日時：7月30日（水）午後6時～8時 場所：高崎ビューホテル 参加費：一般二千円、高校生以下千円

申込：電話で事務局へ

プルゼニ人形劇団 「不思議なローレイ島」公演

日時：9月20日（土）午後2時～3時 場所：箕郷文化会館 チケット：千円 公演後、劇団員との交流会を開催。詳しくは同封のちらしをご覧ください。

外国の方にご紹介ください

外国人のための日本語教室

新町東コミュニティーセンター教室 月曜日コース 期間：7月7日～9月22日（10回） 時間：午前10時30分～12時 土曜日コース 期間：7月12日～9月13日（10回） 時間：午前10時30分～12時 参加費：各コー

スごと五百円（コピー代） 申込：各コースの始まる1週間前までに事務局へ

いずれの教室も託児付きです。

幼稚園訪問事業

日時：7月16日（水）午前10時～12時 場所：さわらび幼稚園（下里見町） 対象：子育て中の外国人とその乳幼児 内容：日本の幼稚園についての説明と施設見学、園児との交流 参加費：一人百円（保険に加入し、おやつが付きます） 申込：7月14日（月）までに事務局へ 高崎市役所集合（午前9時30分）・解散（午後12時30分）で、園バスで高崎市役所と幼稚園を往復します。

必要に応じて通訳も同行しますので、日本語がわからない人も気軽に参加できます。

編集後記

協会主催の語学講座を受講した。記憶力は減退の一途だが学ぶことは実に楽しいと改めて実感。久しぶりに学生気分を味わえたこともうれしかった。

学んだばかりの語学をすぐにも海外で試したい、忘れてしまわないうちに。qui

新規募集と更新手続き

新規会員を募集中です。国際交流に興味のある人にご紹介ください。

既会員で本年度の会費納入がまだの人は、手続きをお願いします。

お問い合わせは右の市役所内国際交流協会事務局へ。

会報 *Touching the World*

発行 高崎市国際交流協会(T.I.R.S.)

〒370-8501 高崎市高松町35-1

高崎市役所 秘書課内

TEL 027(321)1201

FAX 027(330)1819

E-Mail: intl@city.takasaki.gunma.jp

HP: http://www.glocalfive.net/tirs

発行日 2008年6月26日